

長期維持管理技術委員会 平成27年度第1回 議事要旨（案）

日時：平成28年3月4日（金）14:00～16:00

場所：阪神高速道路（株）本社 11F 会議室

出席：委員長：宮川 豊章（京都大学 特任教授）

委員：小林 潔司（京都大学経営管理大学院 教授）

森川 英典（神戸大学大学院工学研究科 教授）

杉浦 邦征（京都大学大学院工学研究科 教授）

議事：

1. 前回議事要旨の確認
2. 維持管理計画に係るマネジメントシステム高度化検討状況
3. 大規模更新事業の状況報告
4. 大規模修繕事業の状況報告
5. 今後の進め方について
6. その他

主な意見：

- ・ 鋼床版劣化予測モデルについては、現状の少ないデータの中で、複数の劣化要因を説明変数とする概ねのモデルが構築できた。ただし、今後の現象を踏まえてモデルを改良していくことが重要。神戸西宮線については、相対的に損傷が多めの予測結果となっているが、実態にも整合しており、当該路線が重交通を多く担っていることを踏まえると概ね妥当な結果。予測結果が比較的顕著な傾向となったものについては、説明できるように整理しておくこと。
- ・ 鋼製フーチングは、詳細調査の結果、内側については設計板厚からは大きな減肉はなく、残存板厚も大半が98%以上ということであれば取替える必要性は見いだせないかもしれない。腐食状況の把握のため、損傷していない箇所との比較分析が必要で、次回の鋼構造分科会で審議を行う。
- ・ 大規模更新・修繕の方法論を都市更新土木工学といった形で、知的財産の観点も含め体系的に整理し、次世代へ継承していくことが肝要。
- ・ 既往の点検結果に加え、現地の詳細調査を踏まえ、損傷原因をしっかりと特定した上で、万全の補修方法を検討すること。特に大規模修繕は構造物内部の劣化促進要素を閉じ込めてしまうことのないよう、詳細調査以降の流れをしっかりと行っていくことが重要。

以 上